

お年寄りの生涯学習として、旧八木町の時から取り組まれている「南丹大学」の開講式が八木公民館で開催され、170人の受講生が出席しました。開講式では牧野修教育長が「今の社会には皆さんの知恵が求められています」と激励のあいさつをされました。また、八木町瑞雲寺の長門義明住職が、各地を旅した体験などをもとに、「旅のおみやげ話」と題して記念講演をされました。

「楽しく学ぼう、
レッツ生涯学習！」
(4/25 南丹大学開講式・八木町)



講演を熱心に聞き入る受講生たち

「愛犬と一緒に春の
美山を駆け抜ける」
(4/9 第1回「ギグレースin京都美山」大会・美山町)



散歩では味わえない全力疾走を楽しみます

ギグレース協会（山城一男会長）の主催する「ギグレースin京都美山」が、譜美山町自然文化村で行われました。今年から新たに「カニクロス競技（飼い主と犬と一緒に走る）」などが設けられました。また、全国大会ということもあり全国各地から、106組、116頭のエントリーで盛り上がりを見せました。

愛犬とともに自転車やスクーターなどでグラウンドに作られた特設コースを参加者が駆け抜けるレースに、大きな声援が寄せられていました。

みんなのひろば

まちの話題を 紹介します



身近な話題を広報係(0771)68-0003へお寄せください。

「青空の下でいきいきプレー」

(4/16 美山町ゲートボール選手権大会・美山町)

美山町ゲートボール協会主催の「美山町ゲートボール選手権大会」が、南丹市美山長谷運動広場グラウンドで行われました。

前日に降った雨により、グラウンド内がぬかるんでいたため、大会役員の方々による整備が行われ、約1時間遅れで開始。大会には、美山町内で10代から70代までの男女135人、27チームが参加しました。

開会式では、大会会長の武田勝男さんが、「日頃の練習の成果を存分に発揮してください」とあいさつをされた後、競技上の注意などが行われ、競技が開始されました。

大会は、午前中に7コートに分かれての予選が行われ、午後からは各コートの勝利チームによる決勝トーナメントが行われ、白熱した熱戦が繰り広げられました。

優勝には「フォルテ大野」チーム（主将、下野庄衛さん）が輝き、7月22日から京丹後市の久美浜町中央運動公園で行われる第21回京都府ゲートボール選手権大会・第22回全日本ゲートボール選手権予選会に出場されます。



「ゲート通過して！」